

高校化学グランドコンテスト報告

◇期 日:令和3年10月23日(土)ポスター発表・24日(日)口頭発表

◇場 所:富山中部高校/大阪市立大学(オンライン開催)

◇参加者:ポスター発表3件 中田隆誠(23H)・西保秀一(26H)・藤田陽大(26H)・本郷巧望(26H)

口頭発表1件 鎌田のどか(23H)・中田隆誠(23H)・渡邊愛織(25H)・本郷巧望(26H)

指導者:SS化学部顧問 浮田直美 先生

本校 SS(スーパーサイエンス)化学部員が第 17 回高校化学グランドコンテストのポスター発表と、口頭発表にオンラインで参加した。1日目のポスター発表は、全体で62件の発表があった。本校からは3件の発表を、プレゼンテーションソフトを使用したポスター形式で行った。2日目の口頭発表では、全体の中から選ばれた10件の発表があった。また、海外招聘校3件の発表もあった。私たちは口頭発表で、「カルボキシラートイオン($-COO^-$)を有する媒晶剤による NaCl 結晶面の成長機構」というテーマで発表した。食塩の結晶の形を直方体から変化させる物質の継続研究で、今回はタイムラプス動画を用いてミクロな変化を重点的に調べた。英語でのスライド作成や、慣れない英語での発表ということもあり、準備時間が多く練習時間は少なかったが、全員で協力することで自信をもって発表に臨んだ。その甲斐もあり、3位に相当する二大同学長賞を受賞することができた。

また、今回の受賞は来年1月に行われる国際大会へオンラインでの参加につながるため、今後は、今回での反省点や質問などから得ることのできた学びを活かして研究を進めていきたい。

全国から集まった生徒による研究発表や海外の生徒による発表は、どれも興味深いものでたくさんの学びがあった。新型コロナウイルス感染症の影響でオンラインではあったものの、様々な分野の研究に触れ刺激を受けることができた。英語での発表も含めて、今大会への参加は貴重な経験となったと感じている。

各研究を進めていく上で、実験を手伝ってくれた1年生、実験を継続してきた先輩方、指導して下さった先生方、応援して下さった先生方に感謝します。

(SS化学部 渡邊 記)

